

大洲風姿花伝

流れる時間、変化する時代の中で
失われそうなもの、忘れ去られそうなものが
数えきれないくらいあります。
美しい自然の風景、先人が築いてきた豊かな歴史、
大切に守り受け継いできた風物、
そしてふるさと大洲を往還した多くの人々の熱い思い。
過去があつて、現在がある、
現在があつて、未来がある。
そんな当たり前前にことに気付かせてくれる場所。
それがゆかしい歴史の面影を今も留める大洲なのです。
15世紀初め、世阿弥は日本の美学を
「風姿花伝」という書物に著しました。
この冊子が大洲の「風姿花伝」となるように。
目にした方々が大洲の魅力を再発見し
未来への活力を育む素となるように。
いにしえより変わらない肱川の流れとともに
今、新しい歴史を刻んでいきます。

Contents

目次

大洲風姿花伝

風の章◎ 風が誘う川辺の旅 営みの景に出会う。	2
大洲四季彩花絵巻	12
姿の章◎ 時の姿に迫る 大洲城今昔物語	14
殿様メイドの大洲名物	20
花の章◎ 市井の花の如く 咲き誇る、古都の名建築	22
癒しの湯・くつろぎの宿	28
伝の章◎ 伝説の始まり 坂本龍馬と大洲	30
ふるさと大洲きらめきマップ	36
市長メッセージ	38
◎大洲市総合計画 きらめき創造 大洲市	40
行政と議会	47
大洲の歳時記	48
ふるさと大洲へのラブレター	49
おおずきらめき情報版	54
友好都市	56
絵で見る大洲市民の暮らし 大洲市のプロフィール	

爽やかな「風」が吹く肱川、大洲城が今に伝える歴史の「姿」、市井に咲く「花」のような名建築、坂本龍馬にまつわる「伝」
説など、大洲の魅力を様々な角度から取り上げていることから、本冊子を「大洲 風姿花伝」と名付けました。「風姿花伝」
とは、父親である観阿弥の遺訓に基づいて、世阿弥が著した日本初の能芸論書であり、「花伝書」とも呼ばれています。